

キエーロ ハンドブック



キエーロを使って
生ごみを減らすにゃん！



常滑市公式キャラクター
トコタン

スタート前の準備

スタートの準備です。まず**土（黒土）**と**シャベル**をご用意ください。
水を補給するための**じょうろやバケツ**、生ごみをためておくための**ふた付きの容器**もあると便利です。

土は市販の黒土がおすすめです。粘土質や砂の多い土は適しません。
準備する土の量は**約 140 リットル（キエーロ七分目程度）**です。シャベルは片手で扱う移植ごてタイプのもではなく、両手で使えて作業性の良い柄の長い小ぶりのシャベルが便利です。

生ごみを埋める場所は、キエーロ内を6等分して、ローテーションして埋めていくと効率的です。

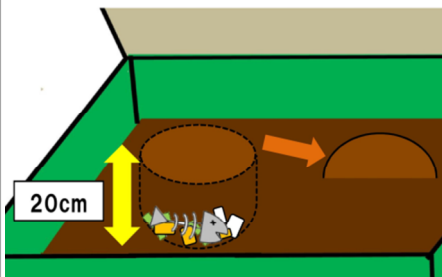


基本の3ステップ

準備ができたなら、早速始めましょう！
分解にかかる目安は、夏場で3～4日、冬場で10日前後です。

1

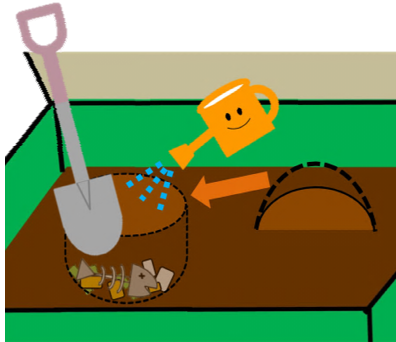
穴を掘り、水と生ごみを投入



埋め方が浅いと虫の発生や臭いの原因になります。
深さ 20cm 程度を目安に穴を掘り、分解を進めるための水と、生ごみを入れましょう。

2

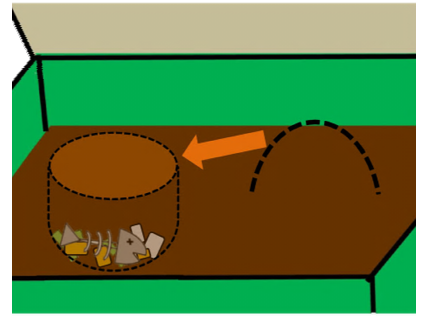
土とよく混ぜる



生ごみは**土と触れることで分解される**ので、土とよく混ぜることが大切です。生ごみが細くなり土がよくからむように、シャベルでザクザクと混ぜましょう。

3

乾いた土をかぶせる

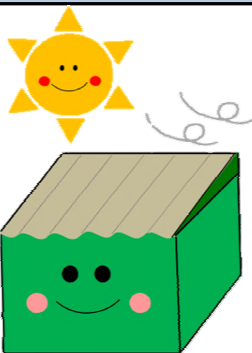


表面に乾いた土をかぶせることで、**臭いや虫の発生を防ぐ**ことができます。表面に生ごみが出ていないかチェックしましょう。表面5cm はごみがない状態がベストです。

3つのポイント

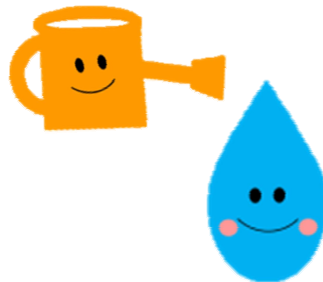
キエー口を上手に使うための3つのポイントをおさえましょう！

日光と風通し



土の表面を乾かすためにも太陽の光と風通しを確保することが重要です。日当たりが悪く、湿気の多い場所は避けましょう。

水分を保つ



分解を進めるためには、中の土に適度な水分が必要です。土を握って形が残るぐらいの状態が最適です。

よく混ぜる



柄の長い、小ぶりのシャベルがおすすめです。

生ごみと土の見分けがつかなくなるぐらいまでよく混ぜましょう。土と触れ合うことで生ごみの分解が進みます。

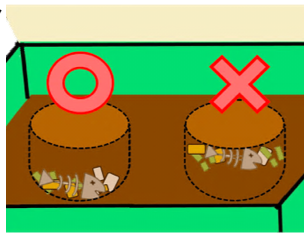
上級テクニック

冬はいつもよりよく混ぜる

気温の低い冬はバクテリアの活動が鈍くなるため、分解が遅くなるだけでなく、土も冷えてかたくなりがちです。

塊をシャベルでほぐしたり、底の方から掘り返すなどして、全体的に空気を入れて混ぜてあげることが大切です。生ごみを埋めるとき以外にも、機会があることに混ぜることで分解が早まります。

生ごみが表面に出ていないかのチェックも忘れずに行いましょう！



使い終わった油を混ぜる

使い終わった食用油は、バクテリアの働きを活性にし、分解を早めます。

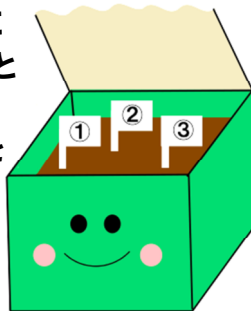
フライパンに残った油や煮汁の残りなどをいっしょに混ぜると効果的です。



埋める場所を変えて使う

埋める場所を3か所くらいに分け、ローテーションで埋めるとより効果的です。

埋めた場所に割りばしなどを立てておくとうっかりやすいでしょう。



生ごみを数日ためてから埋める

EMIほかし容器などふた付きの容器に生ごみをためて、ある程度熟成させてから投入すると分解が早まります。

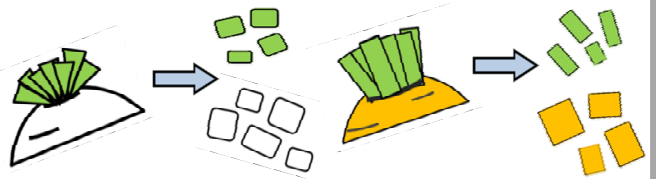
特に野菜類は、この方法で投入した方が分解しやすくなります。



野菜くずは小さくカット

特に生の野菜くずは分解に時間がかかります。そんなときは、小さくカットすることで土なじみやすくなります。

調理時に出た下ゆでの残り湯にしばらくつけておくのも良いでしょう。



継続的に生ごみを投入

生ごみの分解中は土の中の温度が高くなりますが、埋めるのをやめると温度は下がってしまいます。少しずつでも継続的に生ごみを投入し、土の中の温度を保つことで、順調に分解が続けられます。

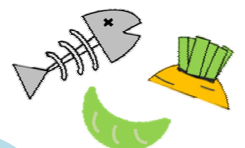
分解のスピード

早いもの

残飯、魚の内臓・煮汁、生肉、脂身、お茶がら、コーヒーかす、食用油(廃油)、火や湯を通した野菜やくだもの、味噌汁やカレーなど調理品の残り物

遅いもの

みかんなどの柑橘類の皮、枝豆のさや、キャベツなどの野菜の芯、スイカの皮、ごぼう・にんじんなどの根菜類、昆布、ブロッコリーの太い茎、魚の大きな頭や小骨



お悩み解決

生ごみが消えたあとの土はどうしたら良いの？

特に処分などをする必要はありません。そのまま使い続けられる手軽さが、キエー口の魅力の1つです。土を堆肥に利用する場合は、使った分の土を足してください。

虫が発生しました

生ごみが土の表面に出ていませんか？深く埋めて乾いた土をかぶせてください。熱湯をかけても退治できますが、土がドロドロにならないよう、かけすぎには注意しましょう。

分解が遅い気がします

気温の低い冬場などは、気温が高い時期に比べて分解が遅くなります。こまめに生ごみと土を混ぜる、廃油を混ぜる、生ごみを深く埋める、などで解決できます。

使用した方の声

- もえるごみの量が減ったので、ごみ袋がサイズダウンしました。
- キエー口を使うと、生ごみを家の中に置いておかなくて良いので、臭いが気になりません。
- 「もう消えた！」や「これはまだ消えない」など、分解の様子を観察するのがおもしろい。
- 鍋の底に残った汁、油、魚のアラ、煮物の汁などを迷うことなく捨てることができます。
- 太い骨、卵の殻、玉ねぎの皮などは分解ができない、もしくは分解が遅いです。
- 世帯の人数によっては、分解が追い付かない場合がありますが、その時にはEMぼかし容器を併用するか、分解しやすいもののみをキエー口に投入するだけでも生ごみが減ります。
- 虫の発生や、冬場の分解が遅くなることは、こまめに土と生ごみを混ぜること、生ごみを深く埋めることで解決できます。

常滑市のキエー口は、 わたしたちが作っています！ アンサンプルしんめい

アンサンプルしんめいは、障がいを持った方が通う福祉施設です。

障がいを持った方が地域の中で当たり前のように生活できるように生産活動(軽作業)を通し、社会生活に必要な力(仕事力、生活力、コミュニケーション力など)を身につける場であり、実際に就職を目指して活動している方もみえます。

キエー口も生産活動の一環として作製し、その売り上げは利用者に還元されていきます。

■お問合せ■

(報奨金等に関すること) 常滑市生活環境課

☎0569-47-6115

(販売に関すること)

常滑市社会福祉協議会

☎0569-43-0660

(とこなめ市民交流センター内)